

令和6年度「障害者の生涯学習支援」に関する実態調査

秋田県内25市町村への調査

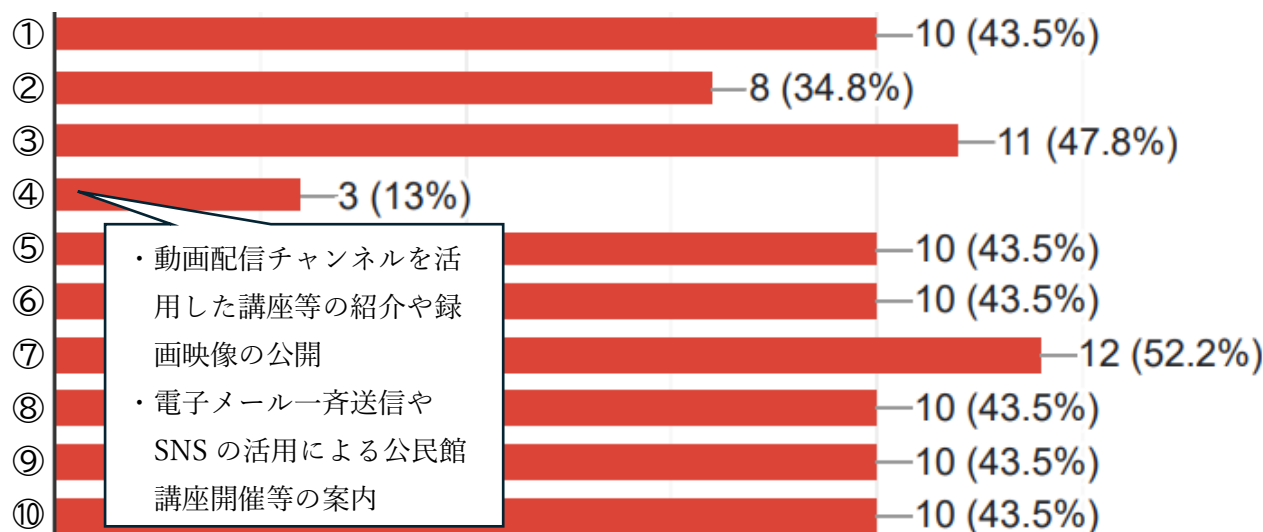
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
障害者が参加可能な講座を実施している市町村数（累計）	15	15	17	21	23	25
障害者を主な対象とした講座を実施している市町村数（累計）	3	—	—	4	12	15
障害者が参加可能な講座において一つでも支援（※）を実施している市町村数	—	—	—	—	—	18

※別表参照

令和6年度「障害者の生涯学習支援実態調査」（令和7年3月28日まとめ）

Q 障害者の生涯学習支援体制について、実施している項目を選んでください（複数回答可）。

【回答市町村数＝23】



※別表「障害者の生涯学習支援体制 項目」

①	ニーズ調査 ・アンケートや聞き取りによる参加者のニーズ把握 ・学習者のニーズや関心に基づいた講座内容の設計 等
②	参加費 ・減免制度や参加費補助 等
③	移動支援・交通アクセス ・バリアフリーな会場使用（施設訪問を含む） 等
④	I C Tの活用 ・オンライン講座等の学習にアクセスしやすくする配慮 等
⑤	多様な学習スタイル（学習者が最適な形で学べる配慮） ・グループワークや個別指導の実施により、異なる学習スタイルをサポート ・視覚教材、聴覚教材、実技を組み合わせた複合的な学習方法の提供 ・体験的な学習 等
⑥	人材による支援体制の充実 ・学習サポーターや介助者の配置 ・支援者の研修 ・支援者やボランティアの活用 ・専門職（特別支援教育、作業療法士、言語聴覚士等）との連携 等
⑦	学習内容の柔軟性 ・一般講座を発達段階に応じて提供 ・進行ペースを調整し、誰もが無理なく学べる配慮 ・成果の強調ではなく、プロセスに焦点を当てた学び 等
⑧	障害者の社会的参加や能力を発揮する機会の設定 ・地域社会との連携やボランティア活動を通じた社会参加への呼びかけ ・自己表現の場や自己決定権の尊重を促進 ・作品等の紹介などの学習成果の発揮場面 等
⑨	評価・フィードバック・成果の可視化 ・定期的なアンケートや聞き取り ・フィードバックを基に講座内容や支援体制を改善 等
⑩	持続可能な運営 ・長期的な視点での講座運営計画 ・他市町村、首長部局等との連携・協働 ・公的支援や補助金、民間企業や団体からの協賛を含む資金調達の仕組み 等

Q 「障害者の生涯学習支援体制 項目」その他（自由記述）

1. 提供されている学習機会・サービス 【 】: 回答先

- ・障がいのある方を対象にした講座やイベントの開催と案内。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・図書館サポーターによる小説などの朗読サービス。【図書館】
- ・展示や講座の見学参加は、すべての人に門戸を開放。【博物館】
- ・史跡見学時の車椅子の移動補助。【博物館】
- ・障がい者のみを対象とした社会参加支援と居場所の提供としてのサロン併設型地域活動支援センター事業の実施。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・首長部局や教育委員会主催のイベントへの参加。【障害福祉サービス事業所】
- ・外部講師を招聘し障がい児の保護者向けに、現状の課題についての解決策や将来の進路や自立に向けての講演会を実施した。【障害福祉サービス事業所】
- ・障がい者が講師となり、高齢者が参加できるワークショップやニュースポーツ等の活動を月1回開催。【障害福祉サービス事業所】

2. 事業運営における工夫や方針 【 】: 回答先

- ・講座の目標に基づき、年度ごとのテーマを設定し、年間の学習計画を立案・実施。【首長部局】
- ・講座やイベントの参加者について、障害の有無による制限は特に設けていない。【首長部局】

3. 他機関等との連携による支援 【 】: 回答先

- ・障がいのある方が講座に参加する際、障害福祉課などから、参加者対応に関するアドバイスや手話通訳士の派遣などの事業運営協力を得ている。【首長部局】

4. 運営に関する情報 【 】: 回答先

- ・地元の地域保健・福祉活動推進事業補助金の交付申請（地域の図書館朗読ボランティアAが申請）。【図書館】
- ・自治体の事業を活用して生涯学習（余暇活動）を実施している。【障害福祉サービス事業所】

Q 障害者の生涯学習について、他市町村、首長部局、民間企業、学校、団体等との連携・協働の事例があれば、どことどのように行っているか記入してください。

1. 教育機関との連携 【 】: 回答先

- ・県立特別支援学校との情報交換による支援ニーズの把握、イベントの案内。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・県立特別支援学校の生徒の職場体験。【図書館】
- ・学校（特別支援学級）や障害福祉サービス事業所等と連携し、参加の声掛け、参加に当たって留意事項の事前チェック等を実施している。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・県立特別支援学校と内容等を協議した上で、学校内で成年教育講座を実施している。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・市立図書館内のギャラリーを貸出し、生徒の作品展示を行っている。【図書館】
- ・県立特別支援学校と連携し、公民館講座への協力を依頼している。【公民館】
- ・県立特別支援学校、障害福祉サービス事業所等との連携により、障がいのある方の学校及び事業所

での活動の紹介や制作した作品の展示会を実施している。【生涯学習・社会教育担当課】

2. 福祉関連機関・団体との連携 【 】：回答先

- ・障害福祉施設との連携。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・福祉関係部局の専門員との連携協働。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・令和6年度は、社会福祉法人が受託した「秋田県障害者のための生涯学習支援事業」において、防災イベントに協力した。当地域のハザードマップの情報提供をし、これには近隣の自治体も協力した。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・事業に障害者からの参加申込があり、その障害の内容によって専門的な知識をもつ人の支援等が必要な場合、福祉関係課や社会福祉協議会等を通じ、その人材を派遣してもらえるような体制を常に想定している。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・町の障害者施設と連携し、入所者の皆さんと歌唱や読み聞かせ等を実施した。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・年4回行っている青年学級のうち1回を地元の教育委員会生涯学習課と連携して実施している。【特別支援学校】
- ・社会福祉協議会と連携して、高齢者とサロンの運営。【障害福祉サービス事業所】

3. 地域団体との連携 【 】：回答先

- ・読み聞かせボランティア団体との連携による継続的な事業実施。【図書館】

4. 首長部局との連携 【 】：回答先

- ・首長部局であるスポーツ振興課が行うみんなで楽しめるスポーツ教室（サウンドテーブルテニス）の年間計画の情報共有、現場の見学。【生涯学習・社会教育担当課、公民館】
- ・福祉課、スポーツ振興課と連携し、講座の開催やニーズ把握など情報共有を行っている。【特別支援学校】
- ・福祉保健課（他課）と連携して、手話通訳士を派遣し、手話教室を実施した。【生涯学習・社会教育担当課】
- ・福祉課、スポーツ振興課と連携し、講座の開催やニーズ把握など情報共有を行っている。【生涯学習・社会教育担当課】

5. その他

- ・特化したことは行っていないが、障害の有無に関わらず誰でも参加できる事業づくりに努めている。【生涯学習・社会教育担当課】